

英与野党の主張逆転

「VOTE BLUE」(青に投票して、緑には「GOGREEN」)

【ロンドン＝稲田信司】5月4日投票の英統一地方選で、福祉や環境を従来重視してきた左派の与党労働党が「犯罪に強い党」をうたい文句に治安対策を前面に押し出す一方、中道政党への脱皮を目指す右派の最大野党保守党が「環境にやさしい党」で売り出すといった、左右のイメージの奇妙な逆転現象が起きている。不祥事続きで劣勢に追い込まれている与党が惨敗すれば、ブレア首相への退任圧力が強まるのは必至。英国の今後を占う選挙となる。

統一地方選

労働党 治安対策 前面に 保守党 環境保護をPR



ノルウェーの氷河を20日訪れた保守党のキャメロン党首(ロイター)

保守党は、環境保護を象徴する色「緑」と同党のカラー「青」を重ねた地方選用の標語をつくった。家庭ごみのリサイクル運動、電気自動車の普及、街路樹や公園の整備……。有権者向けの冊子は環境政策一色だ。陣頭指揮をとるキャメロン党首(39)は選挙戦のさなかノルウェーに飛び、地球温暖化の影響で溶け始めているとされる氷河を視察。温暖化対策として新たな環境税の導入を提案した。イヌぞりを操ったり、電気自動車に乗ったり、パフォーマンスに力が入る。昨年12月の就任後、「ブレア後」を狙う党首のこうした方針は、地方選の現場にも浸透。労働党の地盤のロンドン・ルイシャム区から保守党公認で区長に立候補したジームス・クレブリー氏(36)は「犯罪対策や減税は新味がない。環境政策は都市部の中間層を引きつける」。家庭ごみのリサイクル率の向上を公約に掲げた。一方、守勢にまわる労働党は、麻薬や飲酒などによる住民への迷惑行為の徹底した取り締まりを訴え、善き返しを図る。「住民の一番の関心事は治安。保守党が力を入れる環境も大切だが、治安ほどのインパクトはない」と、ロンドン・カムデン区の労働党区議会副代表セオ・ブラックウェル氏。麻薬売買の巣と目された一帯に区の予算で監視カメラを増設し、自警団を組織した功績を強調している。4月21日に実施されたICM社の世論調査によると、労働党の支持率は保守党を2ポイント下回る32%。同党が大敗した87年の総選挙時以来の低水準だ。

ロンドン大学経済政治学院のパトリック・タンレー教授は「労働党が議席を減らすのは間違いないが、保守党も中道寄りの政策を強調した反動で極右政党に票を奪われそうだとみる。今回の選挙で改選されるのは、イングランドの計388選挙区のうち176。ロンドンでは金融街シティを除く32の区議会が全議席が改選され、国政にも大きな影響を与えるといわれる。伝統的な左派と右派を代表する政党の政策が入り乱れたり、逆転したりする現象は、欧州各地で見られる。主要政党が中道志向を強めている反動で、行き場を失った有権者が極右や極左勢力に流れる傾向も各国で起きており、英国でも移民排斥や反イスラムを掲げる極右政党の伸長を警戒する声が上がっている。

英地方選、与党が大敗

ブレア内閣大改造

【ロンドン＝稲田信司】4日投票、即日開票された英国の統一地方選挙で、与党労働党がロンドンを含む主要選挙区で議席を相次いで失い、大敗した。最大野党の保守党は政権を握っていた92年以來の最多議席を獲得。ブレア首相は6日、不祥事続きの内閣の大改造に踏み切った。追い込まれた同首相に対しては、労働党内からもブラウン財務相への早期権譲を求める声が高まっている。労働党は全国で約320議席を失い、ロンドンの選挙区でも保守党に勢力を逆転された。保守党の得票率は前回04年を上回る40%となり、地方都市での勢力伸長が裏付けられた。選挙直前に党首交代で揺れた第3党の自由民主党は得票率で労働党をわずかに上回った。保守党のキャメロン党首は6日、労働党から16年ぶりに奪い返したロンドン・イリリング区などを回り、「労働党政権は崩壊しつつある」などと勝利宣言した。同区の勝敗はこれまで、次期総選挙の結果を先取りしてきた。



ブレア首相、プレスコット副首相、ブラウン財務相

たといわれる。労働党大敗の直接の引き金となったのは、選挙前に相次いで発覚した不祥事だ。総選挙時の支持者からの灰色融資疑惑、プレスコット副首相の不倫騒動などが響いた。とりわけ、外国人受刑者を国外追放の是非を審査しないまま釈放した内務省の不手際は、「犯罪に強い党」を地方選で掲げた同党への信頼を激しく揺るがせた。ブレア首相は6日、クラーク内相を解任し、ストロー外相が下院院内総務に回るなどの内閣改造を発表。プレスコット副首相は留任としたものの、地方行政などの閣僚権限を大幅に縮小、不祥事との決別と政権刷新を演出した。重要閣僚は信頼できる側近で面めた。内相には重鎮のリード国防相、教育改革でつまづいた若手ケリー教育技能相に代わりジョンソン貿易産業相を据えた。新味を出すため、外相は初の女性となるベケット環境相を横滑りさせた。投票日翌日の大幅な内閣改造は、敗戦イメージを早期に払拭し、起死回生を企てる狙いがある。

生を狙う姿勢を示すため、とみられる。ブレア首相の後継とされているブラウン財務相は留任した。ブレア首相の早期退陣を求める党内左派の議員グループは「党を構造改革し、政策を変え、指導部を一新すべきだ」と迫っている。ブレア首相にとって9月の年次党大会が、ブラウン氏への権限時期を判断する節目となる。勢いづく保守党は、中道右派政党への脱皮を図るキャメロン党首の下で一気に政権奪取を目指す構えだ。